

特 別 の 教 科 道 徳 学 習 指 導 案

日 時 令和 3 年 6 月 16 日 (水) 5 校時

令和 3 年 6 月 19 日 (土) 5 校時

学校名 西東京市立田無第三中学校

対 象 第 1 学年

授業者

1 教材名 「心をつなぐバス」(「新訂 新しい道徳」P. 169～)

2 内容項目 B(6)「思いやり、感謝」 (B 主として人との関わりに関すること)

3 主題設定の理由

(1) 教材観

本教材は「私」が乗り込んだバスでの心温まる話である。運転手さんから優しく声をかけられた「私」は、そのバスの居心地のよさに幸福感を覚える。温かいバスの雰囲気は、乗客の一人ひとりを思いやる運転手さんの心配りによってつくられているのだった。「私」に限らず、様々な人の気持ちを考えることで、広い視点から思いやりの在り方について考えられる教材である。

(2) 生徒観

素直な生徒が多く、発問に対して誠実に考え答えようとする姿勢は感じられるものの、その内容は浅く、表面的な理解にとどまっている。そのため、ジグソー法を用いた互いに学び合う集団的思考が自ら進んで粘り強く、より広く、深く考えようとする手立てとなると考えられる。

(3) 指導観

二時間にまたがって一つの題材を行うことで、じっくりとエキスパート活動、ジグソー活動の取り組みよう配慮した。

4 授業のねらい

集団的思考の技法(ジグソー法)を用いてそれぞれの立場からの行動やその思いを考えることを通して、多面的・多角的な視点から「思いやり」について、生徒個々の考えを深めさせる。この集団的思考の活動を通して互いに学び合うことから自らの学びを広げ、深めようとする意欲を育てる。

5 指導計画

	目標	学習活動
第1時	本文を読み、それぞれの登場人物の立場や思いを整理する。	- これまでの経験から「思いやり」と感じたことを挙げる - 運転手さんの行った思いやりをワークシートにまとめる。 - 三つの質問に対して、自身で考え、班で共有する。
第2時	「思いやり」とは何かについて自分の考えをもつ。	- 色ごとに分かれ、自身の考えや同じ班ででた意見を発表する。 - ホームグループにて、それぞれの色ごとに出た意見を発表しあう。

6 指導に当たって

〈ユニバーサルデザインの視点〉

ジグソー学習に用いるワークシートの色を発問ごとに変え、視覚的にわかるようにする。

〈集団的思考の視点〉

生徒一人ひとりがグループ活動で自分の意見を発表し、話し合えるように自分の意見を考える時間をしっかりととり、グループ活動の時間も十分にとる。

7 本時

(1) 本時の目標 (第1時)

- ・相手の気持ちや相手の立場を考えながら人と接することの大切さに気付いて、思いやりの心をもって温かく接しようとする心情を育む。
- ・これまでの経験から「思いやり」と感じたことを挙げる。
- ・本文を読み、それぞれの登場人物の立場や思いを整理する。

(2) 本時の展開 (第1時)

時間	●学習内容・学習活動 ○「発問」 ◎「中心発問」 ＊予想される生徒の反応	指導上の留意点・配慮事項
導入 (5分)	●「思いやり」について考える。 ○「今日は、『思いやり』について考えていこうと思います。今までに、自分が『思いやり』を感じた出来事をいくつか挙げてみましょう。」 ●ワークシート1に記入 ＊つらいときに励ましてくれた。 ＊わからない問題を教えてくれた。 など。 ○「1に書いた内容を発表してくれるひとは手を挙げてください。」	・ワークシートを配布し、記入させる。 ・立場によってさまざまな思いがあることを確認する。 様々な意見を出させる。思いやりもそうでないものたくさん出るとよい。
展開① (15分)	○「これから教科書の文章を読んで、思いやりについて考えていきます。」 ●本文音読(5分) ●内容確認(5分) ・私→バスに遅れて乗せてもらった。 男の子に席をゆずった。 「ありがとうございました。」とあいさつ。 ・運転手→私に声を掛けた。 少年たちを待ってあげた。 ・少年→同じ養護学校に通う友達を呼んでバスに乗れるようにした。 「ありがとうございました。」とあいさつ。 ・同じバスに乗り合わせた人(買い物や病院帰りのお年寄り、または乗り合わせたおじいさん、おばあさん) ○「運転手さんが乗客(私を含める)に行った思いやりはどのようなものでしたか？ワークシート2に書きましょう。」 個人で記入し、全体で発表。(5分)	

展開② (15 分)	●三つの発問内容について考える(5分～10分) ○「それぞれの質問について、自分自身の考えをワークシート 3に書きましょう。」 赤：運転手さんの行動についてあなたはどのように思いますか？ 青：私がバスを降りたくなかったのはなぜだと思いますか？ 黄：あなたがこのバスに乗っていたらどのように感じますか？ ●ホームグループになって、発表しあう。 ●役割分担を決め、自分の担当の色のワークシートを教卓から 持っていく。	
まとめ (5 分)	・ 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を確認する。	

(3) 本時の目標 (第2時) ・ジグソー法を通して「思いやり」とは何かについて自分の考えをもつ。

(4) 本時の展開 (第2時)

時間	●学習内容 ・学習活動 ○「発問」 ◎「中心発問」 *予想される生徒の反応	指導上の留意点・配慮事項
導入 (10分)	●本時の流れ確認 ●前時の確認 ○「ここをつなぐバス」の内容確認	
展開 (25分)	ジグソー活動(10～15分)	
	・黒板に掲示されたエキスパート班の座席に、ワークシートをもつて移動する。 ・エキスパート活動中に各班で話したことを、発表しあう - 赤：運転手さんの行動についてあなたはどのように思いますか？ *とても優しい人だと思う。 *時間通りに運行しないのは困る。 - 青：私がバスを降りたくなかったのはなぜだと思いますか？ *バスの居心地がよかったから。 *運転手さんと一緒にいたかったから。 - 黄：あなたがこのバスに乗っていたらどのように感じますか？ *温かい気持ちになる。 *居心地が悪い。 *何も思わない。 ・内容をワークシート¹にメモする。	・移動先がわからない生徒には、先週の道徳の授業と同じように移動すると声をかける。 ・班ごとに、意見を発表しあったらなぜ、どうして、など意見を深めるような話し合いになるように声をかける。
	クロストーク活動(5～10分)	
	・どのような意見があったか最初の班に戻り、発表する。	・報告するだけにとどまらないように、で体験から新たに考えたことなどを話し合えるように声をかける。
まとめ (15分)	◎「思いやりのある行動とはなんだと思いますか。」 ・ワークシート²に自分の考えを記入する。 *誰かのために行動すること。 *自分勝手ではない行動。 *温かい気持ちになれる行動のこと。 ・ワークシートに記入 ・ふりかえり・感想記入	・一時間目の内容も踏まえながら、考えるように声をかける。

(5) 板書計画

『心をつなぐバス』		
内容確認の図	ホームグループの 座席表	エキスパートグループ の座席表

(6) 授業観察の視点

- 〈課 題 設 定〉 ・「本時の目標」を達成するためにふさわしい活動であったか。
- 〈 展 開 〉 ・「主体的・対話的で深い学び」は実現できていたか。
- 〈指導上の留意点〉 ・板書、掲示資料、ワークシートは適切であったか。

「心をつなぐバス①」

①今までに自分が『思いやり』を感じた出来事をいくつか書きましょう。

②バスの運転手さんの思いやりのある行動をあげてみましょう。

③それぞれの質問について、自分自身の考えをワークシート書きましょう。

また、班で発表しあった後に、班員の考えも書きましょう。

	自分の考え	班員の考え
赤		
青		
黄		

1 年 組 番 名前:

「心をつなぐバス②」

『黄：あなたがこのバスに乗っていたらどのように感じますか？』

1 同じ色の人の意見をメモしておきましょう。

2 思いやりのある行動とはなんだと思いますか。自分の考えを書きましょう。

3 心をつなぐバスの学習を通して、思ったことや考えたことなど感想を書きましょう。

4 ふりかえり

教材や友達・先生の話から自分の考えを深めることができた。…………… A ・ B ・ C ・D

学んだことをこれから生きていく中で大切にしたいと思った。…………… A ・ B ・ C ・D

話し合いに積極的に参加できた…………… A ・ B ・ C ・D

1 年 組 番 名前:

.....